

平成29年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年7月12日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の業績(平成28年12月1日～平成29年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	1,466	0.8	8	31.1	9	45.8	9	2.3
28年11月期第2四半期	1,477	6.0	11	339.8	17	144.2	8	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	3.67	
28年11月期第2四半期	3.58	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第2四半期	5,917	4,849	82.0	1,958.17
28年11月期	5,752	4,868	84.6	1,965.77

(参考)自己資本 29年11月期第2四半期 4,849百万円 28年11月期 4,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期		0.00		12.00	12.00
29年11月期		0.00			
29年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,868	1.4	23		23		16		6.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年11月期2Q	3,339,995 株	28年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	29年11月期2Q	863,444 株	28年11月期	863,424 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年11月期2Q	2,476,554 株	28年11月期2Q	2,476,571 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、[添付資料] P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(修正再表示)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)における日本経済は、緩やかな回復基調がみられるものの、中国をはじめとする新興国の景気の減速や英国のEU離脱問題、米国では経済政策の進展の遅れなども懸念され、世界経済の不透明感が高まり不安定な状況が続いております。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに消費が落ち込んでおり、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりましたが、市場低迷の影響を受け、当第2四半期の売上高は14億66百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

また、販売強化を目的とした販売促進費等をはじめとした販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は8百万円(前年同期比31.1%減)、経常利益は9百万円(前年同期比45.8%減)となりました。

なお、四半期純利益は保険事業譲渡益の特別利益の発生により、9百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業のうち、ルアー用品に関しては、フィッシングロッドやルアー(擬似餌)等の新製品投入効果により、前年同期の売上高を上回ることとなりましたが、フライ用品に関しては、天候不順や市場低迷の影響を受けて販売が苦戦をいたしました。

その結果、当第2四半期におけるフィッシング事業の売上高は前期を下回り、5億14百万円(前年同期比2.7%減)となりました。また、新製品発売に先行して販売促進費等が増加したことにより、セグメント利益(営業利益)は74百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、秋冬シーズン初頭における暖冬傾向により、アウトドア衣料を含む衣料品市場は全般に低迷いたしました。当社ではマークダウン(割引販売)等や店頭における販売促進策を実施するとともに、春以降においては防虫衣料「スコーロン」製品の販売に注力いたしました。

その結果、当第2四半期におけるアウトドア事業の売上高は、9億35百万円(前年同期比0.3%増)となりました。また、売上総利益率が向上したことにより、セグメント利益(営業利益)は48百万円(前年同期比47.7%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期累計期間に関しては、その他売上高は16百万円(前年同期比1.0%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は11百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億64百万円増加し59億17百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加3億55百万円や季節的な要因による商品及び製品の増加1億61百万円、有価証券の満期が1年内になったことに伴う投資有価証券からの振替による増加1億円、受取手形及び売掛金の増加61百万円などの一方で、有価証券が償還時期を迎えたこと等による減少5億円などの影響により、前事業年度末に比べ1億74百万円増加し、43億91百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の有価証券への振替えなどによる減少1億円や有形及び無形固定資産等の減価償却等による減少35百万円などの一方で、投資有価証券の取得1億円や工具、器具及び備品や造作などの有形固定資産の増加18百万円、敷金及び保証金の増加3百万円などの影響により、前事業年度末に比べ10百万円減少し、15億26百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億83百万円増加し10億68百万円となりました。

流動負債は、仕入が集中する季節的な要因により支払手形及び買掛金が1億98百万円増加したことや、未払法人税等の増加5百万円などの一方で、返品調整引当金の減少10百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億91百万円増加し、8億38百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が10百万円減少したことなどの影響により、前事業年度末に比べ8百万円減少し2億29百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ18百万円減少し、48億49百万円となりました。これは主に、四半期純利益9百万円の発生的一方、前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ47百万円増加し、4億42百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2百万円(前年同四半期の使用した資金は2億51百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加1億92百万円、減価償却費35百万円、税引前四半期純利益17百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加1億62百万円、売上債権の増加63百万円、返品調整引当金の減少10百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、84百万円(前年同四半期の使用した資金は7百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の取得と有価証券の償還による差額収入4億円などによる資金の増加の一方、定期預金の預入と払戻による差額支出3億8百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、39百万円(前年同四半期の使用した資金は39百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出29百万円とリース債務の返済による支出10百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年7月7日発表の「第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,370,001	1,725,855
受取手形及び売掛金	566,024	627,900
有価証券	750,209	350,177
商品及び製品	1,478,109	1,639,381
その他	57,760	52,758
貸倒引当金	△5,962	△4,954
流動資産合計	4,216,142	4,391,119
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	592,572	583,597
土地	653,376	653,376
その他(純額)	30,571	30,965
有形固定資産合計	1,276,521	1,267,939
無形固定資産	48,929	40,736
投資その他の資産		
その他	211,180	218,898
貸倒引当金	-	△1,149
投資その他の資産合計	211,180	217,748
固定資産合計	1,536,631	1,526,424
資産合計	5,752,773	5,917,543
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,170	677,484
未払法人税等	17,021	22,105
返品調整引当金	28,551	17,653
その他	122,365	121,583
流動負債合計	647,109	838,827
固定負債		
退職給付引当金	126,442	126,520
その他	110,860	102,692
固定負債合計	237,302	229,212
負債合計	884,411	1,068,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	392,887	372,249
自己株式	△478,024	△478,033
株主資本合計	4,856,310	4,835,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,050	13,841
評価・換算差額等合計	12,050	13,841
純資産合計	4,868,361	4,849,504
負債純資産合計	5,752,773	5,917,543

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	1,477,472	1,466,331
売上原価	822,318	793,467
売上総利益	655,153	672,863
返品調整引当金戻入額	24,544	28,551
返品調整引当金繰入額	16,191	17,653
差引売上総利益	663,507	683,761
販売費及び一般管理費	651,612	675,569
営業利益	11,894	8,191
営業外収益		
受取利息	1,219	477
受取配当金	572	558
為替差益	2,458	-
その他	1,089	339
営業外収益合計	5,339	1,375
営業外費用		
支払利息	-	73
為替差損	-	148
その他	55	41
営業外費用合計	55	263
経常利益	17,179	9,304
特別利益		
事業譲渡益	-	7,700
特別利益合計	-	7,700
税引前四半期純利益	17,179	17,004
法人税、住民税及び事業税	8,693	6,969
法人税等調整額	△387	953
法人税等合計	8,306	7,923
四半期純利益	8,873	9,080

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	17,179	17,004
減価償却費	35,289	35,477
貸倒引当金の増減額(△は減少)	152	140
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△8,353	△10,897
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,918	78
受取利息及び受取配当金	△1,792	△1,036
支払利息	-	73
為替差損益(△は益)	758	△479
売上債権の増減額(△は増加)	△50,387	△63,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△251,904	△162,080
仕入債務の増減額(△は減少)	45,905	192,345
事業譲渡損益(△は益)	-	△7,700
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,805	391
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△26,896	3,990
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,293	4,077
その他	△104	△1,328
小計	△245,746	7,029
利息及び配当金の受取額	1,822	1,551
利息の支払額	-	△73
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,310	△5,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	△251,233	2,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△754,200	△1,134,200
定期預金の払戻による収入	656,000	826,000
有価証券の取得による支出	△300,000	-
有価証券の償還による収入	400,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△8,852	△11,870
無形固定資産の取得による支出	△523	△178
投資有価証券の取得による支出	-	△100,000
事業譲渡による収入	-	7,700
敷金の差入による支出	-	△3,242
敷金及び保証金の回収による収入	76	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,499	84,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10,279	△10,279
自己株式の取得による支出	-	△9
配当金の支払額	△29,497	△29,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,777	△39,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△758	479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△299,268	47,653
現金及び現金同等物の期首残高	564,058	394,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	264,789	442,555

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	528,964	932,479	1,461,443	16,029	—	1,477,472
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	528,964	932,479	1,461,443	16,029	—	1,477,472
セグメント利益	91,265	33,134	124,399	10,992	△123,497	11,894

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△123,497千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	514,914	935,227	1,450,141	16,189	—	1,466,331
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	514,914	935,227	1,450,141	16,189	—	1,466,331
セグメント利益	74,629	48,927	123,556	11,241	△126,606	8,191

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△126,606千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。